

大好評！「認知症フォーラム」

9月2日、オルテンシアで「認知症フォーラム」が開催されました。

今年のテーマは「みんなでつくろう！認知症にやさしい五所川原市」。

ステージでは、金木小学校三味線クラブの皆さんが元気いっぱいの演奏でオープニングを盛り上げたほか、認知症を分かりやすく学べる寸劇や共催団体による活動内容の発表があり、高齢者の行動が少しでも普段と違うように感じたら、一人で抱え込まず、地域包括支援センターや在宅介護支援センターに相談しましょうと呼びかけました。

また、認知症クイズでは、ゲストとして金多豆蔵人形一座に加え、若い世代にも興味・関心を持ってもらうために招いたタレントの王林さんが登場。金多と豆蔵の津軽弁による軽快な掛け合いに王林さんも参加し、会場は笑いに包まれました。

そのほか、ロビーでは医療・介護など専門職種の方が日頃の活動内容を展示・紹介するコーナーや体験コーナー、認知症の相談ができるコーナーも設けられ、多くの来場者が楽しみながら認知症について学びました。



認知症の事例を分かりやすく紹介する寸劇



金多、豆蔵と津軽弁で掛け合う王林さん



元気な演奏を披露する金木小学校三味線クラブ



介護用品などを紹介する展示・体験コーナー

今月号の表紙

〔道の駅十三湖高原まつり恒例 しじみのすくいどり!〕

今月号の表紙は、8月27日に開催された「道の駅十三湖高原まつり」の様子です。

毎年恒例の「十三湖産しじみのすくいどり」では、今年も長蛇の列ができ、大・中スコップを引き当てたお客さんは、重さに驚きながら大量のしじみをすくっていました。また、150食限定の「市浦牛入り冷やし担々麺」も好評を博し、食べ終えたお客さんからは「とてもおいしかった」との声が聞かれました。

八木澤淳駅長は「天候にも恵まれ、皆さん喜んでくれたので、大成功だった」と笑顔で話しました。

*9月30日開催の「しうらグルメカーニバル」の詳細は16ページに掲載しています。



限定メニューの市浦牛入り冷やし担々麺